

(別紙様式 5)

北海道防災教育アドバイザー プロフィールカード

令和 8 年 6 月 1 日現在

(1) 氏名 又は 団体名	山岳医療救助機構【代表(医療担当): 大城和恵、(救助担当): 村上富一】	
(2) 職業		
(3) 防災教育分野に係る 資格又は職歴	団体:国際山岳医療救助協議会(ICAR)加盟 大城:医師(医学博士)、英国国際山岳医、国際登山医学会副会、全国警察山岳遭難救助アドバイザー、消防庁消防大学校救助課講師、国立登山研修所専門調査員等 村上:元北海道警察山岳遭難救助対策官(航空隊、機動隊、山岳遭難救助隊の指揮官として、山岳遭難・水難・各種災害現場における豊富な救助経験)	
(4) 対応可能分野 ※該当に○印	ア) 地域の自然災害リスクや過去の被災経験の解説 (該当に○印) 地震・津波災害 () 気象災害 () 火山災害 () イ) メディア等による災害情報の活用 ウ) 減災対策 エ) 避難所運営 オ) 避難所運営ゲーム北海道版(Do はぐ)等の教材活用 キ) 防災訓練のシナリオや防災研修の企画立案等 ケ) 避難計画や災害時事業計画等 コ) その他 ①山岳遭難事故防止対策 ②低体温症の発症防止、発症時の処置	
(5) 講演や指導、助言 できる具体的内容	・御嶽山噴火災害の調査から(救助活動における活動と医療的問題) ・各種災害における被災者の自助対策 ・山岳遭難における医療面からの解説及び予防指導と発生時の対策 ・寒冷期の避難所における低体温症対策 ・暴風雪、津波災害における低体温症対策	
(6) 最近の活動内容 ※講演実施や取組支援、テレビ出演等	スポーツ庁・国立登山研修所後援アウトドアファーストエイド講習会主催、総務省消防大学救助科講師、警察庁主催全国山岳遭難救助指導者研修会講師、国立登山研修所安全登山セミナー講師、北海道消防学校山岳救助講師、大雪山旭岳パークボランティア冬期研修会講師、大雪山旭岳遭難防止啓発活動、NHK「明日をまもるナビ」、NHK E テレ「きょうの健康」、「NHK ジャーナル」NHKラジオ R1 ラジオ第一 生放送、FM ヨコハマ「Keep Green & Blue」、ビジネス社刊 大城和恵著『「国際山岳医」が教える 50 歳からのスロー登山」、雑誌『POPEYE』	